


ふりがな 氏名	この しんや	都道府県	奈良県	
	河野 晋也			
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良教育大学附属小学校 / 教諭 ・近畿 ESD コンソーシアム 運営委員 			
私のESD活動	市内の遺産など、児童に身近な人・もの・ことを題材に教材開発をし、小学生を対象とした実践を行った			

活動の概要

ESD では、自発的に持続可能な社会づくりに参加・参画する人材の育成を目指していることから、授業実践においても、子どもの主体的な学びが大切だと考えます。そのため、子どもの「学び方」に焦点を当てた実践研究に取り組んでいます。**近畿ESDコンソーシアムの活動**…奈良教育大学を基盤に教員、学生、大学教員らとの月数回の研修に参加しています。構成概念や SDGs、能力・価値観などの理論に関わる学習や、授業実践の検討等を行っています。これまでに、奈良の豊かな文化財や地域資源を生かし、空間的・時間的な見方を働かせて現代社会の諸課題や持続可能な社会を捉えることを目指した社会科・総合的な学習の時間の実践を作成しました。

これまでの授業実践の概要…総合的な学習の時間では、地域の文化財や世界遺産が人々の努力と豊かな自然環境によって守られてきたことに着目し、正倉院宝物や奈良公園の鹿、地域の昔話等を題材にして実践を行いました。社会科では、県内の高速道路建設を取り上げ、整備効果や住民の願いだけでなく、環境や防災上どのような配慮が必要なのかという視点から政治の役割を考えさせたり、伝統食・柿の葉寿司を切り口にして水産資源や食料生産の問題について考える実践を行いました。どちらの教科においても、問題に対して、自分なりに考えをもち、意見を出し合い、また新たな問題に出会う、という子どもの学びを大切に授業づくりを心掛けています。

○「近畿ESDコンソーシアム」 <https://jisedai.nara-edu.ac.jp/open/esd/>

今後の活動や協働への展望

授業の質を高めることを、第一に考えています。たとえ授業によって ESD について十分児童が理解したとしても、それが主体的に学ぶ経験を踏まえてのことではなければ、価値観と行動の変革という目標、持続可能な社会づくりを担う人材の育成には至らないと考えます。今回の参加者の方の実践に学ばせていただいて、より主体的に子どもたちが学べるための知恵を取り入れ、新たに実践を開発していきたいと考えています。

同様に ESD を校内・地域へ広げていくための工夫や、また教員以外のアクターの取組についても学ばせていただきたいと思っています。まだまだ ESD の認知度は限定的で、ひろがりやつながりは不十分だと感じています。相互に取組の良さを取り入れることができれば、それぞれのコンソーシアムの質が向上することはもちろんですが、今後コンソーシアム同士のつながりも増えていくのではないかと期待しています。各地のコンソーシアムはそれぞれに活動することが多く、活動の雰囲気も様々だと感じていますので、ユース間でつながっていくことでお互いのコンソーシアムに刺激を与えあい、学び合うことができると考えています。